

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年 4月 30日

事業所名： こども発達支援ルームマオポポ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	1	<ul style="list-style-type: none"> ・エリア分けをして、個々のスケジュールを立て、一部分に集中しないようにしている。日により利用者が多くなる場合はやや狭く感じる。 ・部屋を各種スペースに分けて集中出来るコーナーを設けている ・個別ブースを作ったことで、子どもたちが落ち着いて過ごせる空間が出来たと思う。使い方をもっと工夫していきたい。
	2	職員の配置数は適切であるか	10		<ul style="list-style-type: none"> ・瞬間的に多くの人手が必要な時はあるが、スタッフが状況をみて、周囲に声かけしながら動いている ・発達段階や特性の近い子が同じ課題に取り組んでいる。 ・それぞれたくさん仕事を抱える中、助け合って仕事をしている
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10		<ul style="list-style-type: none"> ・視覚支援などをフル活用し、言葉や文字だけでなく写真を使ってわかりやすくしている ・視覚カード等を使って工夫された環境になっている。 ・トランジションを導入したことで、1日の流れが子どもたちにもわかりやすくなったと思う
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	10		<ul style="list-style-type: none"> ・他児の声に対しては個別にイヤーマフを使うなど、個々が過ごしやすいように工夫している。 ・保育中でも適宜消毒を心掛けている ・清潔には気を付けているが、やはり空間が足りない気がします。 ・職員が1日2回掃除をしている朝夕の掃除の徹底、おもちゃや備品の消毒をしています。 ・部屋を仕切ったり、個別の活動をしたいお子さんには間仕切りを用いてスペースを確保して安心できる空間づくりをしています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	10		<ul style="list-style-type: none"> ・保育終了後に振り返りを行い不安なことなどは特に意見交換している。 ・わからないことはすぐに相談している ・職員全員を対象としたミーティング、日誌の共有などしている ・定例ミーティングを実施し、職員間で業務改善に努めている
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10		<ul style="list-style-type: none"> ・口頭だけでなく連絡帳で家庭での様子を伺ったり、保育内容の報告などしている。 ・マメにコミュニケーションをとり、やりとりをしている ・面談を実施したり、希望者だけでなく必要に応じて事業所内の見学案内をしている
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10		自己評価表をホームページで公開いたします。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	8	2	施設を開所して初年度を終えたところなので、これから第三者委員に評価を求めています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10		<ul style="list-style-type: none"> ・研修にかかる費用を補助し、学びを促進している。 ・目標を設定し講座を受講する計画を作成している ・定期的に研修の機会を設けてくれて、参加することにより、知識の向上につながっている ・研修の紹介、共有などしている ・必須研修、推奨研修、研修ルールを作成し、職員の資質向上に努めている
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	10		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の希望を尊重して計画を立てている ・定期的に子どもの成長などを話し合い、出来ていることや課題を話し合ってまとめている
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10		・幼稚園や就学準備を見据えて身辺自立を目指している

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10		<ul style="list-style-type: none"> ・お支度、食事、お着替え、排泄など発達レベルに合わせて支援している ・発達支援計画を事務所内の見やすい所に設置し、常に確認できるようにしている 	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10		<ul style="list-style-type: none"> ・週の担当を決め取り組んでいる。更に季節の行事と連動するように心掛けている ・全員で持ち回りで活動を考えている 	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10		<ul style="list-style-type: none"> ・身体遊び、音楽遊び、制作遊びなど週事に違うテーマを決め取り組んでいる。 ・それぞれが「制作」「運動」「音楽」「感触」などのテーマに沿った活動を考えている ・週替わりで活動プログラムを作成している。 	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	10		<ul style="list-style-type: none"> ・集団が難しい場合は個別に対応している ・コミュニケーションに課題がある子はグループ活動を多く取り入れる、などしている 	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10		<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝一日のスケジュールを確認し担当内容をすり合わせている ・前日の夕方までに翌日の流れを確認しあい、話し合っている 	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10		<ul style="list-style-type: none"> ・終了後に振り返りを実施している ・療育終了後に話し合う時間を作り、その日にあった危険だったことや改善すべきところなどをその都度話し合っている 	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10		<ul style="list-style-type: none"> ・報告書を作成している ・その日の療育に入ったスタッフで日誌を書いている 	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10		<ul style="list-style-type: none"> ・月一回のミーティングで共有している ・定期的に確認、見直しをしている 	
	関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10		
		22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	10		
23		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	該当なし			
24		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	該当なし			
25		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	10		<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等訪問事業を開始する 	
26		移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	該当なし			
27		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	10			
28		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	10		<ul style="list-style-type: none"> ・一時預かりにて触れ合ったり、外遊びの時に公園で一緒に遊んだりしている ・事業所で行っている一時保育や、お散歩先の公園などで交流を設けている ・一時保育利用している子どもと一緒にの保育 	
29		(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	9	1	市の子ども子育て会議に出席しています。	
30		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10		<ul style="list-style-type: none"> ・お休みには電話連絡し情報交換している ・毎日お迎えの時などにこまめにコミュニケーションをとったり、連絡帳でやりとりをしている 	

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	5	5	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	10		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	8	帰宅時にお話しやすい雰囲気をつくったり、保護者同士でお話できるような橋渡しをしている
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10		Instagramなどで活動の様子などを公表している
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	9	1	・写真は顔を出さないように気をつけたり、外部から名前が見えないようにマークだけにしたたり、持ち出しのグッズは名前を外したりしている ・個人情報の扱いについての職員の認識を高めるための研修が必要
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10		・PEGSを使って積極的にコミュニケーションを取ろうとしている
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	10		・音楽コンサートの開催、他事業である「ねっこぼっこ」サークルの集会としての場所を開放しています。 ・気軽に見学してもらえる ・利用者も地域の親子も参加できるイベントやカルチャースクールが開催されている。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	10	
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	5	・マニュアルに基づいて、子どものいる時間に訓練をしていきます。 ・近々実施予定。児童にとって負担が少なく安全に行える訓練となるように計画されている。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	10		・服薬等は連絡帳に記入してもらっている
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10		・アレルギー確認している。 ・お弁当は持参してもらっている
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10		
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	1	・年に1回虐待防止に関する研修を実施している
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7	3	・パニックなど本人や周りの子どもを傷つけるおそれのある場合のみ、安全な場所に移動させるために行う ・事例はないが、そうする場合には子どもや保護者への説明、承諾、共有ができる関係性になっている。 ・身体拘束せざるを得ない児童がいない。事例がない。